

夏休み海外短期留学2026

対象者 南城市、北中城村、中城村、伊平屋村、大宜味村、本部町、嘉手納町在住の中学生・高校生 | 東村、伊江村在住の中学生



名門
ワシントン州立大学

WASHINGTON STATE
UNIVERSITY

(米国ワシントン州)

201・2002・2003・2004・2006・2007・2008・2009・2010・2011・2012・2013・2014・2015・2016・2017・2018・2019・2023・2024・2025

英語は**必要**な道具です!!

英語を話して、世界に挑戦!!!

プログラムの強み

- 大学ESL専門講師による英語の集中講座!
・生徒の英語力に合わせたクラス編成で基礎力をアップ!
- 課外活動が充実!
・多くのネイティブスピーカーと交流できるように企画!
- サポート体制も充実!
・米大学生カウンセラーが常時生徒をサポート!
・緊急時は日本人バイリンガルスタッフが対応!
・生徒の活動をホームページ上で確認!



English is an Indispensable TOOL!!

Let's Speak English and See the World !!!



留学先の大学と協力協定(MOUC)を締結

課外授業例

- 公共施設見学やボランティア活動体験!
- 森や川など豊かな自然を満喫する野外レク!
- 大学内の博物館、施設、クラブ見学!



主催 沖縄県内市町村海外短期留学実行委員会

お問合せは 下記の各教育委員会まで

南城市教育委員会
TEL 098-917-5369

北中城村教育委員会
TEL 098-935-3780

中城村教育委員会
TEL 098-895-2158

東村教育委員会
TEL 0980-43-2130

伊平屋村教育委員会
TEL 0980-46-2003

大宜味村教育委員会
TEL 0980-44-3006

伊江村教育委員会
TEL 0980-49-2334

本部町教育委員会
TEL 0980-47-2206

嘉手納町教育委員会
TEL 098-956-1111

研修企画

DOTESolutions 株式会社 付属-NPO法人琉米歴史研究会

www.dote.solutions



プログラムの概要

去年の参加者の体験談(抜粋)

1. 中学2年生の体験談

留学で学んだ一番のことは「積極的に行動すること」です。私はどちらかといえば消極的な性格で、学校での授業中の発表も自ら進んでするのは苦手です。これまでは先生に当てられたら答えるというような受け身の姿勢で授業を受けていました。ですが、アメリカでの授業はグループ活動が主で、課題に対して仲間とディスカッションをしながら理解を深めていくというスタイルでした。なので、自分の考えを積極的に伝え、間違いを恐れずに発言することが重要だなと感じました。また、アメリカの先生方は英語力の未熟な私たち生徒の発言に、丁寧に耳をかたむけてくださり、間違っているても大丈夫だよと優しく接してくださいました。はじめのうちは日本と違う授業スタイルに戸惑ったり、恥ずかしかったりしたけれど、だんだんと慣れてきて後半は楽しく授業に参加できました。

2. 中学1年生の体験談

プログラムでは、校内学習だけではなく、地元プルマン市長への表敬や、博物館、消防署などの施設訪問、文化・自然体験プログラムなど、ボランティア学生の皆さんや先生方をはじめとした、多くの方と交流することができました。今回の短期留学で、私の世界観が広がったのと同時に、多くの同世代の友達ができただけでなく私にとっては大きな財産です。また、見た目や言語、文化の違う海外の人達とも友達になれるんだということも実感しました。

3. 高校2年生の体験談

日本では、教科書を使って先生の話聞きながらノートを取る授業が多いですが、アメリカでは授業内で学んだことを、ポスターにしてまとめるというスタイルでした。ポスター作りでは、ただ英語を書くのではなく、「どうすれば、見ている人に伝わるか」「どんな構成にすると興味を持ってもらえるのか」など、自分で工夫することが求められました。このように、アメリカの授業は「自分で考え、学ぶ」ことを重視していて、日本との大きな違いに驚きました。この学びを通して最初はうまく英語が話せず、自分の思いを伝えることに苦労しましたが、身振り手振りを交えて伝えることの大切さを実感し、「伝えたい」という気持ちが何より大切だと学びました。

4. 高校3年生の体験談

今回得た成果として一番に思うのは、アメリカの大学でネイティブな英会話を聴くことができ、また話すことにチャレンジできたということです。私はリスニングもスピーキングも他の参加者と比べるとだいぶ劣っていると感じていました。ですが、大学での講義や現地の方々とお話しするときには、もちろん英語で話す必要がありました。そのような中でネガティブにならず積極的に話しかけに行けたことが、自分にとっての一番の学び、成長に繋がったと思います。

留学期間中には様々なプログラムが用意されており、それぞれのプログラムで貴重な体験が数多くあり思い出は尽きません。今回思い切ってこの短期留学に応募したことで得たものは多く、本当にチャレンジして良かったと思っています。苦手意識のあった英語についても、たくさんの英語に触れることができたおかげでその意識も薄れ、これからもっと積極的に英語を学び、将来的には英語を生かして国際的に活躍できるような人材になりたいという希望も持てるようになりました。